

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日 2019年 1月25日	
派遣プログラム	<input type="checkbox"/> HUSA
留学先大学	トゥールーズ 大学 (国名: フランス )
在籍身分	交換留学生
留学期間	2018年10月02日～2019年1月18日

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	将来フランス語を使って仕事をしたいため、留学を希望していた。フランス語圏であればどの国でも問題なかったため、留学先の大学には特別希望はなかった。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募の一ヶ月前にIELTSの試験を受けた。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	広島大学でフランス語は第二外国語としてしか勉強していなかったため、留学前に単語帳や文法のテキストを購入して学習した。

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ
	ビザ申請先: 在日フランス大使館
	提出書類: パスポート、顔写真、銀行残高証明書、留学目的についてのアンケートなど
	手続きに要した日数: 三週間ほど
その他必要な事前手続き	入寮手続き: 大学から連絡がくるので指示通りにやれば問題ない。
出国年月日	2018年10月01日
経路(往路)	羽田・パリ・トゥールーズ
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有(大学関係者・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有(期間: 一日 内容: 大学の歴史や履修登録の方法、留学生が参加できる活動など) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年1月18日
経路(復路)	トゥールーズ・パリ・羽田

### 3. 留学費用について

支出額	総額	649,000	円	
	内訳	渡航費（往復）	150,000	円
		ビザ申請手数料	6,000	円
		予防接種費用	0	円
		保険料	60,000	円
		教材費（授業料以外の学費）	0	円
		宿舍費（住居費）	100,000	円
		光熱費	0	円
		食費	30,000	円
		通信費（インターネット・携帯）	0	円
		交通費（宿舍ー大学間）	3,000	円
		交際費	100,000	円
その他（旅費）	200,000	円		
（費）		円		
（費）		円		

#### 4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	DEFLEという外国人のためのフランス語の授業 文法や、スピーキング、リーディング、ライティングなど 1コマ2時間、週8コマ
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についての アドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	クラス分けのためのテスト勉強もそうだが、テストの際は大学のパソコンで受験するため、フランス語のキーボードの打ち方に慣れる必要がある。私は受験中に打ちたい文字が最後まで見つからずに終了した。 スポーツの授業をとるといいと思う。フランス語がわからなくても授業にはあまり支障はないし、友達も作れる。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	よく言われることだが、日本人以外の生徒はとても積極的に発言する。話せなくても発言する。また、その際に先生は文法的な間違いを直してくれる。 フランス人のための通常の授業はグループワーク課題が日本の授業に比べて多かった。

#### 5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 9㎡	同居人の有無	<input type="checkbox"/> 有（ 人） <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり	280(現地通貨)	約 33,000円
留学先での住居全般に関するアドバイス			

(2) 医療について	
保険の加入先	■本学指定の保険 ■留学先大学指定の保険 □その他 ( )
保険の補償内容	補償額 死亡 円、 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種の必要の有無	□有(種類: 回数: 医療機関名: ) ■無
留学先国の医療事情(日本と比較して)	病院や薬局には行ってないのでわからない
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	特に変わらない。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
デモが頻繁に行われていた。普通にしていたら問題ないが、前線に行くと催涙ガスやレンガ、石、椅子などが飛んでくるので要注意。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
大学の学食がある。ものにもよるが比較的健康的で安い。お昼はそこで食べるのがお勧め。また、トゥールーズ大学はキャンパスが3つあり、寮の近くのキャンパスは夜までやっているの、そこに行くこともお勧め。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
日本とあまり変わらない印象。ただ、パリは寒いため旅行に行くときは準備が必要。	
(6) 学内外の施設・設備環境について(インターネット環境含む)	
学校と寮、マクドナルドなどの飲食店にはWiFiはある。ただし、寮の場合は現地でケーブルを購入し、そのケーブルを部屋でパソコンにつなげる必要がある。また、寮の受付にもWiFiが飛んでいる。またMEDIATHEQUEという図書館が駅の近くにあり、そこなら、無料でWiFiやピアノテレビゲームやチェスなどができる	
(7) 現地学生や地域との交流について(どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
日本語を勉強している学生は積極的に声をかけてくれる。また、交換留学生を対象にしたイベントに行くとフランス人の学生もたくさんいる。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
フランス人は日本人よりも挨拶を大事にしている印象がある。恥ずかしがらず挨拶を笑顔でする必要がある。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていきべきでないもの	

特になし

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

学生や若者には無料になるものがたくさんある。

6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2019年 3月	(当初の卒業予定年月	2019年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )		
現在の状況および今後の予定・進路等	卒業後、就職		
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	四年次の留学のため、就職先や卒業までに必要なものはすべて終わらせて留学した。		

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

8. 後輩へのメッセージ

積極的にさまざまな活動に参加することでたくさんの人と知り合えます。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

私は一学期間、留学をしました。一学期というのはとても短く三ヶ月半ほどでした。その中の学習面についてまず、紹介します。

クラスは下から順にA1、A2、B1、B2、C1、C2となります。クラス分けは大学のパソコンでテストを行いその結果に応じて振り分けられます。内容は文法問題とリスニングになっているため、対策をするならその二つを勉強することをお勧めします。特に文法問題がテストの75パーセントを占めており、かつ選択問題ではないため、動詞の活用など正確に書くことが求められます。また、苦戦したことはフランスのキーボードです。キーボードのアルファベットの場所が異なり、さらに英語では使わない記号も打ち込む必要があります。その場所をわかっていないと試験中に答えがわかっていても答えられないことがあります。ちなみに私は最後まで見つけることができませんでした。

また、授業はよく言われるように、日本人以外は積極的に発言をするので臆することなく発言をし、授業に参加することが大切だと思います。私が参加した学期の日本人は全員A1かA2に所属していました。そのため、文法的に新しいことをやることはなく日本で習ったことと同じことをやります。もちろん、知らない単語などはたくさん授業では扱いますが、基本的にはすでに知っているものを多く扱います。そのため、積極的に発言し、話す力を伸ばしていくことが重要になります。

また、大学の団体が主催している交換留学生とフランス人の交流イベントがあります。積極的に参加することでヨーロッパや南米の友達を多く作ることができます。大学以外にもフランス語を学習できる場所は多く、例えばBLA BLA EXCHANGEというものがあります。それはテーブルごとに話したい言語が決まっており、その言語を話したい人と話せるというものです。そこにはフランス人も多くいるためネイティブの会話することもできます。またCAFE LANGUE というものがあります。それはコーヒーを飲みながら一時間から二時間の間フランス語を学びたい外国人が集まり、スピーキングの勉強ができるというものです。私が見つけたのは大学主催のものかひとつと、後は駅の近くで行っている三つほどでした。またOKINというトゥールーズ大学の日本語学科団体が主催するイベントもあります。フランス人と知り合ういい機会にもなります。それらに参加していると平日の夜はほとんど埋めることができますし、継続的に参加することですごく伸びます。私は大学ではフランス語は第二外国語でしか取っていませんでしたのでフランス語を使った経験がほとんどない状態で行きましたが、三ヶ月後にはフランス人と話すことも問題ないくらいまで成長することができました。

また生活面ですが、フランスは先進国なのでお金さえあれば不便なことはひとつもありません。ただ、スリはあるのでそこだけは気をつけたほうがいいと思います。また、多くの日本人はOKINとコンタクトを取り、到着後空港からの迎えや銀行口座の開設、携帯電話など生活面で多く助けてもらっています。私の場合はそれを怠ったせいでそれらのすべてのことを一人で行うことになりましたので、助けてもらうことがいいかと思います。特に大変だったのが、寮に到着後、入寮手続きが17時までとは知らず23時に到着したために入寮手続きが行えず初日は近くのホテルで泊まりました。また、寮から大学までは少し距離が離れており、バスと電車を使って片道40分ほどです。

フランスでしか味わえないことはやはりデモだと思います。私が留学していた期間にも大きなデモがあり、その時期は電車やバス、周りのお店がすべて閉まるということもあります。また、最前線に行くとか催涙ガスやレンガや石、椅子などが体に飛んでくるのでとても危ないです。デモなので距離をとっていけば何も問題はないですが、近くで見たい場合は自己責任で行く必要があります。デモでなくとしても日本ではないことがたくさんあるので同じ日本人や他の留学生、フランス人と常に連絡が取れる関係性を気づくことで事前にわかることも多くあります。



トゥールーズでのデモの様子



ガロンヌ川周辺

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。